

八戸市交通部初のノンステップバス導入について

導入車両について

中型ノンステップバス 1台（いすゞ自動車製）

中型ワンステップバス 1台（いすゞ自動車製）

中型バス・大型バスの違い（概要）

中型：全長がおおむね9m未満、定員60名程度

大型：全長がおおむね11m未満、定員80名程度

指名競争入札による

契約業者：青森いすゞ自動車株式会社 八戸支店

平成21年8月28日契約

平成22年1月22日納入

導入の経緯

ワンステップバスの導入を検討していましたが、国の「高齢者・障がい者等の移動の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号）いわゆる「バリアフリー新法」により、バス車両に関する移動等円滑化の目標が「平成27年度までに、原則として車両全てを低床化し、総車両数の約30%を平成22年までにノンステップバスとする」と設定されており、東北運輸局からもノンステップバスについて積極的な導入を検討していただきたいとの意向があったため、交通部内で検討した結果、試験的な意味合いから平成21年度においては1台のノンステップバスを導入したものです。

ノンステップバス・ワンステップバスを一般的には低床バスと呼んでいます。

購入価格

ノンステップ：17,850,000円（税込）

（本体17,000,000円+消費税850,000円）

ワンステップ：16,275,000円（税込）

（本体15,500,000円+消費税775,000円）

差額：1,575,000円（税込）

（本体1,500,000円、消費税75,000円）

主な構造の違い

・ワンステップバス

乗車する際に乗車口に足をかけ、階段を昇るように、さらにもう一段昇らなければならず、また降車する際も、階段を降りるように一段降りてから降車しなければならない構造となっています。(市長記者会見のとおり)

・ノンステップバス

乗車口に足をかけると既に車内の床面になっているため、もう一段昇る必要も無く、そのまま乗り込むことができ、また、降車する際も車内床面から直接降車可能な構造となっています。この乗り降りの際の段差の有無が大きな違いとなっています。(市長記者会見のとおり)

ステップまでの高さ

	降車口		乗車口	
	路面から前ステップまでの高さ	2段目までの高さ	路面から中ステップまでの高さ	2段目までの高さ
ノンステップ	300mm		325mm	
ワンステップ	300mm	530mm	330mm	555mm

参考 車両写真

ノンステップ降車口



ワンステップ降車口



主要機能

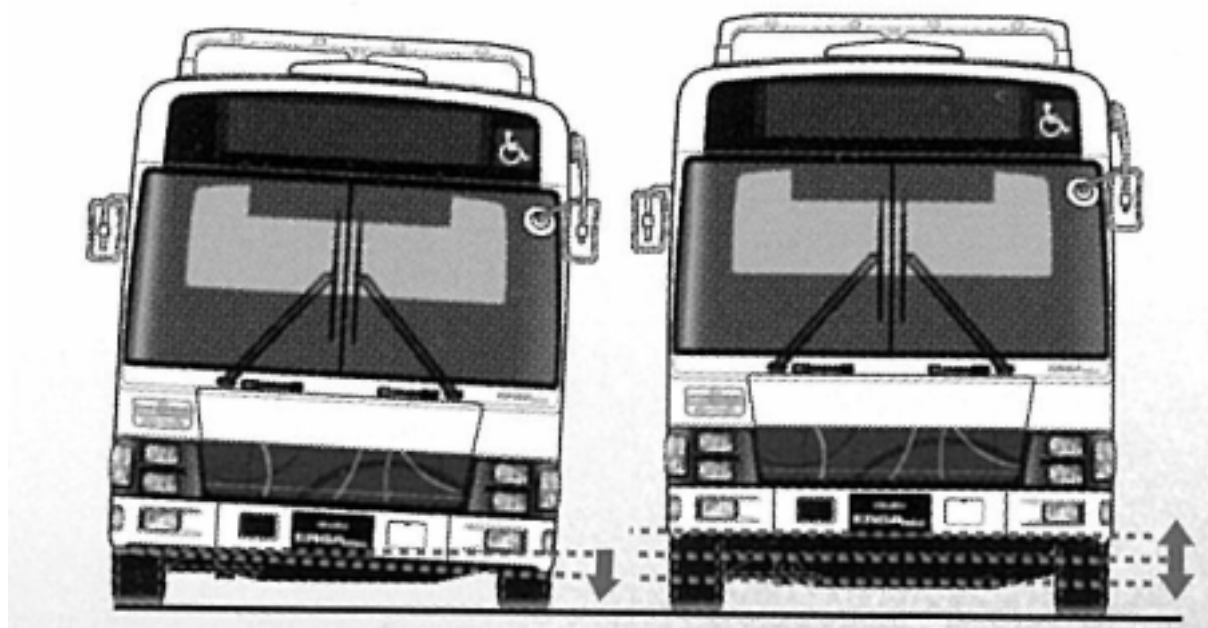
車高調整機能（ノンステップバス）が装備されています。

ニーリング：乗降時に車両を左に傾けることで、より低い乗降口を実現する機能

ロアリング：車両全体をダウンさせることで車高を下げる機能

リフトアップ：踏切内の凸凹路や路面の障害物を避けるときなどに車高全体をアップさせる機能（低速走行時に限る）

車高調整イメージ図



ニーリング時

ロアリング/リフトアップ時

	車高調整量
ニーリング	- 70 mm
ロアリング	- 50 mm
リフトアップ	+ 50 mm